



農産物・食品加工

カルナータカ州



1

インド: 農産物・食品加工分野における主導的ポジション

2

カルナータカ州: 農産物・食品加工の圧倒的リーダー

3

エコシステムのインテグレーター

4

政策の推進

5

将来的な事業機会

インド: 農産物・食品加工における主導的ポジション



- インドの食用穀物の総生産量は推計252.2百万トン(2015-16年)
- WTOの貿易統計によれば、2015年における世界の農業貿易に占めるインドの輸出と輸入の比率はそれぞれ2.26%と1.74%

アグリビジネス



- インドは世界最大のミルク、乳製品、水牛肉の生産国
- 果物、野菜、ヤギ肉、卵iの生産では世界第2位
- 急成長分野は、加工食品、炭酸飲料、パック飲料水、アルコール飲料をはじめとする消費者向け食品

食品加工

インド GVAの17%を占める

農業サービスと機械のFDI累計流入額:
979.1億ルピーと
236.2億ルピー
(2000年4月から2017年3月)

FDI累計流入額:
4,513.1億ルピー
(2000年4月から2017年3月)

2016年における
インドの輸出額の
28.4%を占める

2016年における
最大の輸出品は
畜産物、次は
バスマティライス



- ・インドの食品加工業界に占める非組織部門は42%
- ・2024年までに、食品加工は900万人の雇用が見込まれる

セクターの概観
カルナータカ州



カルナータカ州：農産物・食品加工の圧倒的リーダー

州の 65% 以上の土地は農地

大規模な資源基盤

2016-2017年のGSDPに占める農業と類似活動の比率は 11.68%

強力な体制基盤

- ▶ 卓越した支援インフラと熟練した労働力
- ▶ 確立された市場の連携
- ▶ 州全域に食品工業団地、利用可能な土地は約380エーカー
- ▶ 投資家に優しく、積極的且つ明確に規定されたセクター固有の政策

コーヒー、小キュウリ、絹、グリーンチリ、タマリンド・ひまわり、トウモロコシ、雑穀、サトウキビ、豆類

主力生産者

ローズオニオン、バヤジーチリ、カシューナッツ、ピクルス、コーヒー

ミルクの生産生協は第2位

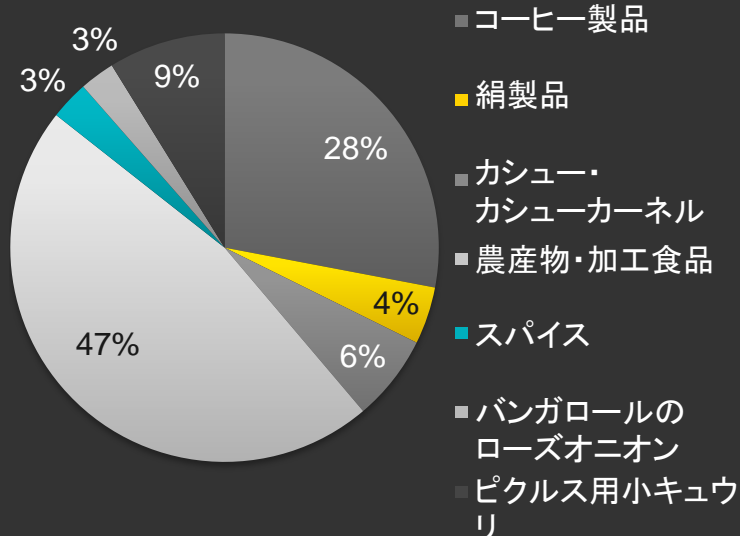
320キロの海岸線を有し、年間39.3万トンの海産物を生産。州の主な海産物はオイルサーディン、インドサバ、イトヨリダイ、イカなど多彩

海産物

特殊生産

活況を呈するカルナータカ州の輸出市場

2015-16年における州内の コモディティ類の輸出比率



スパイス

- ▶ 主要スパイスはバニラ、シナモン、タマリンド、チリ、しょうが
- ▶ 2015-16年のカルナータカ州のスパイス輸出額は49.34百万ドル
- ▶ スパイスが拡大している地域はダクシーナ・カナダ、コダグ県、チクマガルルなど

ローズオニオン

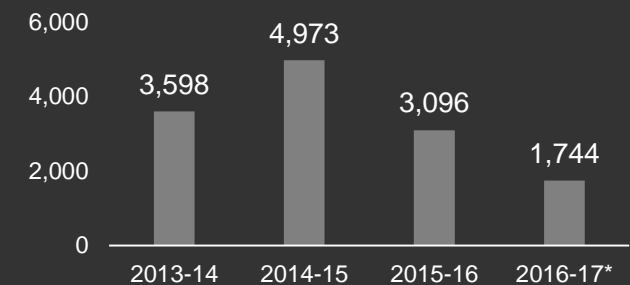
- ▶ 主としてバンガロールの農村地帯とチクバラプール地区に約10,000エーカー
- ▶ 2015-16年の州内からの輸出額は45.87百万ドル

ピクルス用小キュウリ

- ▶ インド最大の輸出品で、2015-16年は201百万ドル
- ▶ 輸出先は、米国、フランス、ドイツ、オーストラリア、スペイン、韓国、カナダ、日本、ベルギー、ロシア、中国、スリランカ、イスラエルなど



コーヒーの輸出額推移 (単位:1,000万ルピー)



コーヒーの主な輸出先は、イタリア、ドイツ、ベルギー、ヨルダン

雑穀: カルナータカ州のスーパーフード

- ▶ 雑穀: 血糖指数が低く、グルテンフリー、繊維質と栄養素も多い
- ▶ カルナータカ州は180万ヘクタールの耕作地を有する国内の雑穀生産の中心地
- ▶ 健康と財産がますます重視されている
- ▶ アグリビジネスにとって巨大な事業機会
- ▶ 産業見本市: 有機栽培と雑穀 2018年



エコシステムの インテグレータ



カルナータカ州の農作物・食品加工クラスター

ジャグリー加工品

- ▶ バガルコート
- ▶ ベルガウム

米・パフトライス

- ▶ ベッラーリ
- ▶ チトラドゥルガ
- ▶ マンディア

レーズン

- ▶ ビジュープル
- ▶ ベルガウム

食品・加工食品

- ▶ チッカマグルール
- ▶ ガダグ
- ▶ グルバルガ
- ▶ アターラ・カナダ

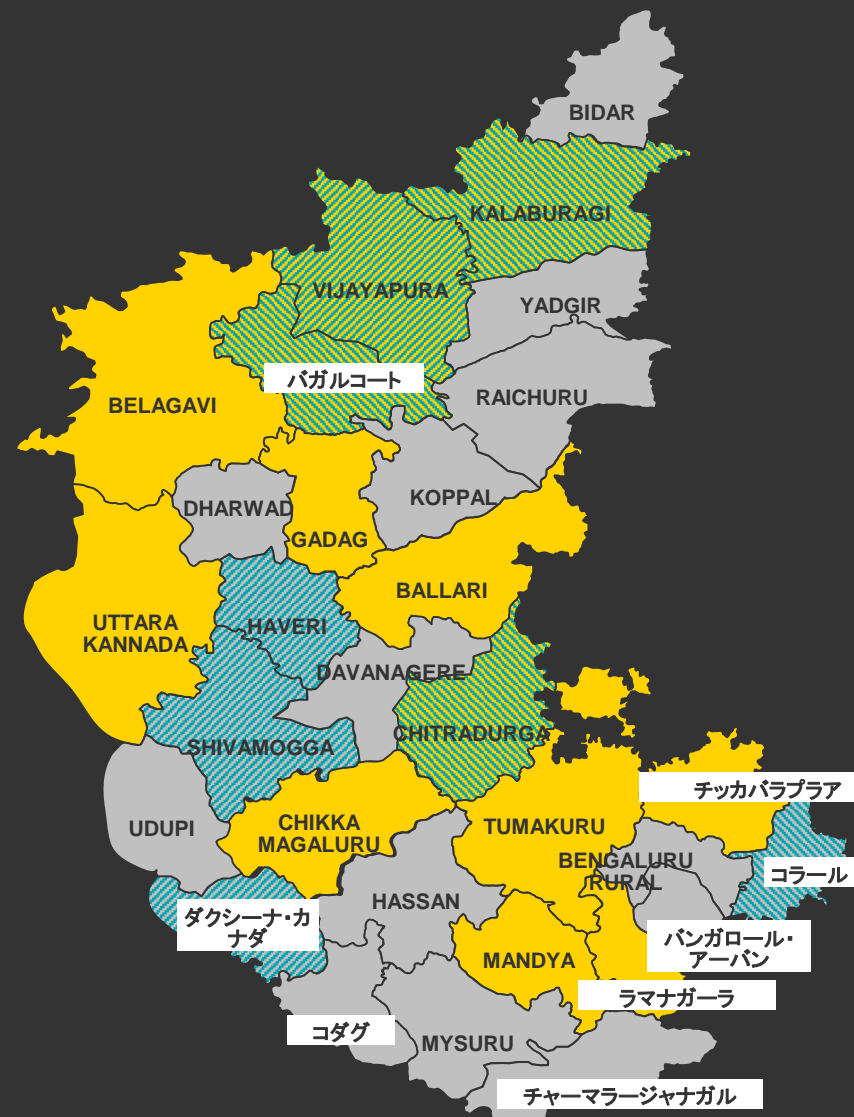
乾燥ココナツ

- ▶ トウムクル

カシュー加工品

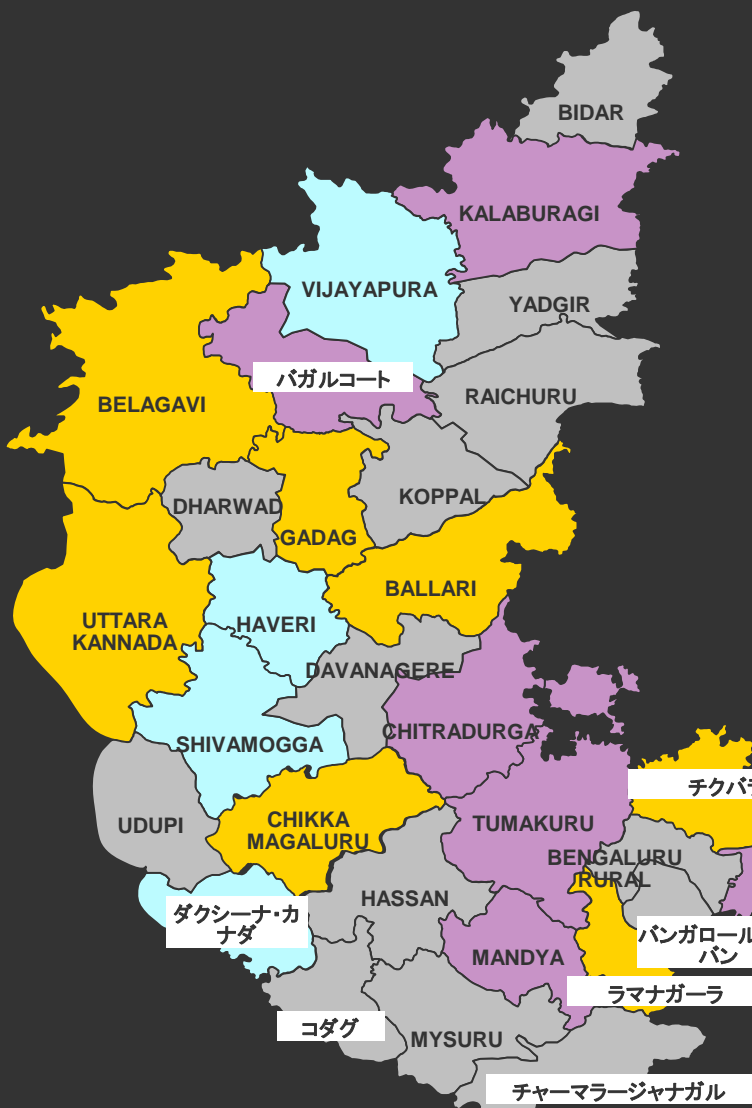
- ▶ アターラ・カナダ

承認された
クラスター



出所: カルナータカ州産業プロフィール 2015-16年

カルナータカ州の農産物・食品加工工業団地



- ▶ マンガロール、ダクシン・カナダのシーフード工業団地、30エーカー
- ▶ シバモガの食品工業団地、97エーカー
- ▶ ビジャヤプラの食品工業団地、75エーカー
- ▶ パイアーダジのスパイス工業団地
ヘイバーリ、50エーカー

申請中の工業団地

- ▶ マルアー、コラールのイノーバ・アグリバイオ工業団地、89エーカー
- ▶ ヒルユール、チトラドゥルガのアクシャヤ食品工業団地、100エーカー
- ▶ グルバルガのジェバージ農産物工業団地、100エーカー
- ▶ バガルコートのグリーン食品工業団地、100エーカー
- ▶ トウムクルのインド食品工業団地86エーカー
- ▶ マンディヤのフェイバリッチメガ食品工業団地

中央・州政府の構想にある工業団地

申請中の農作物独自の工業団地

- ▶ コパールのライス・テクノ団地、315エーカー
- ▶ コパールのトムロコシ・テクノ団地、315エーカー
- ▶ グルバルガのツール・テクノ団地、250エーカー
- ▶ ビーダルのココナツ・テクノ団地、100エーカー

支援インフラ

倉庫の収容量

倉庫会社	収容量 (百万トン)
カルナータカ州セントラル・ウェアハウジング・コーポ	5,78,436
カルナータカ州ウェアハウジング・コーポ (KSWC)	15,19,380
KAPPEC	8,400
カルナータカ州フード・コープ・オブ・インディア	2,36,000
付加的な倉庫収容量と保冷倉庫 (2018年3月末)	25,00,000 40,000

出所: KSWC Bengaluru

輸出を促進するプロジェクト

マンゴと他の園芸商品の輸出、保管、梱包のための2つの主要なコールドチェーン施設が、ICAPPECによってバガルコート(APMCヤード)、フブリ、KIADBに竣工する

バンガロールの園芸部門の協力を得て、国際フラワーオークションセンター設立

アターラ・カナダ地区のクムタにカシュー技術開発センター

タダディ港、クムタ・タルク、カルワル地区に、海産物の改良 / 近代化のインフラ設備



羊・山羊の食肉処理場

- ▶ プロジェクト費用- 2.6億ルピー
- ▶ 土地- 20エーカー
- ▶ 場所- チーラナハリ、トゥムクル地区



政策の推進

カルナータカ州のアグリ
ビジネスと食品加工政策
2015年



強固な政策環境

インフラ支援、収益・雇用の拡大とともに、カルナータカ州を農作物加工の主要目的地として開発

カルナータカ州のアグリビジネス・食品加工に関する政策 2015年

目的

- ▶ インドの農産物加工セクターを2020年までに10%、2025年までに25%拡大
- ▶ 廃棄物の削減と産業の付加価値を高める
- ▶ 直接的・間接的な雇用創出機会の最大化
- ▶ 農地から市場へのサプライチェーン全体での投資フローを拡大する

統一的なeトレーディング・プラットフォーム

農家・生産者の組織

先駆的改革

農作物の団体保険に関する構想

政策推進組織の設立



インセンティブ

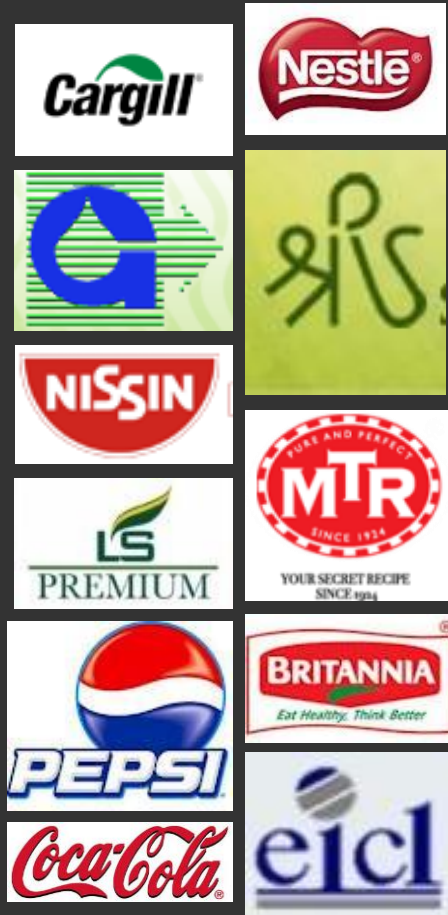
- ▶ 投資促進への補助金
- ▶ 印紙税の免除
- ▶ 譲許的登記料
- ▶ 土地転換費用の返還
- ▶ 入国税の免除
- ▶ 排水処理プラント建設に対する補助金
- ▶ 零細企業に対する金利補助
- ▶ 電気料金に対する免税

将来的な 事業機会



将来的な事業機会

主力企業



アグリ・インフラの確立と強化

1

2

腐りやすい農作物の加工レベルでの強化

生産、梱包、配送における世界基準の維持

3

4

農作物の廃棄を削減するための方法とメカニズム

食品加工部門の集積を通じたオーガニック食品
セクターの成長

5

6

加工食品分野への資金拠出の増加

終わり